

名器から生まれた名曲 (2回講座)

— モーツァルトとヴァルター・ピアノ —
— ショパンとプレイエル・ピアノ —

時代と楽器を理解して初めてわかる、名曲の魅力と作曲家の想い…。作曲当時に使われた“ピアノの特長”から名曲にアプローチする新シリーズを題材とした久元講師ならではの魅力あふれるレクチャーコンサート形式のセミナーです。

◆ 第一回 ◆

2016年4月22日 (金) 10:30-12:30
— モーツァルトとヴァルター・ピアノ —

使用テキスト:

「名器から生まれた名曲1 モーツァルトとヴァルター・ピアノ」(学研パブリッシング)



◆ 第二回 ◆

2016年9月16日 (金) 10:30-12:30
— ショパンとプレイエル・ピアノ —

使用テキスト:

「名器から生まれた名曲2 ショパンとプレイエル・ピアノ」(学研パブリッシング)



講師

久元 祐子先生

東京藝術大学音楽学部(ピアノ専攻)を経て東京藝術大学大学院修士課程を修了。読売日本交響楽団、新日本フィル、日本フィル、東京フィル、神奈川フィル、ウィーン サロンオーケストラ、ラトヴィア国立交響楽団、ベルリン弦楽四重奏団など、内外のオーケストラや合奏団と多数共演。2012年、2014年には、イタリア国際モーツァルト音楽祭に招かれリサイタルを開催。その模様はイタリア全土に放映され好評を博す。2011年ウィーンでのリサイタルではピアノ専門誌の表紙を飾り「ペーゼンドルフアー・アーティスト」の称号を受ける。ペーゼンドルフアー(1829年製)、プレイエル(1843年製)、エペール(1868年製)などを所蔵し、歴史的楽器の演奏会や録音にも数多く出演。それぞれの時代の中で作曲家が求めた響きと美学を追及する。2010年、ショパン生誕200年記念年には、全国各地でプレイエルを使用した演奏会に出演。軽井沢・大賀ホールにおいて天皇皇后両陛下ご臨席のもと御前演奏を行う。また音楽を多面的に捉えることを目指したレクチャー・リサイタルは、朝日新聞・天声人語にも紹介される。これまでにCD10作をリリースし「ハイドンとモーツァルト」は毎日新聞CD選、レコード芸術推薦版に選ばれ、「ベートーヴェン」テレーゼ「ワルトシュタイン」はグラモフォン誌上で「どこからどう考えても最高のベートーヴェン演奏」などの評価を得る。著書に「モーツァルトのピアノ音楽研究」(音楽之友社)、「原典版で弾きたい! モーツァルトのピアノ・ソナタ」(アルテスパブリッシング)、「モーツァルトとヴァルター・ピアノ」(学研パブリッシング)など。国立音楽大学准教授、日本ラトヴィア音楽協会理事
久元祐子ウェブサイト <http://www.yuko-hisamoto.jp/>

会場: カワイ広島コンサートサロン“パーチェ”

受講料: PTNA広島中央支部所属会員 2,500円
(各回) PTNA他支部所属会員 3,500円
一般 4,500円
※当日は500円増し

下記の申込書にご記入のうえ、お電話またはFAXにてお申込みください。ピティナHPからのお申込みも可能です。

<http://www.piano.or.jp/seminar/list/>

【主催・お申込み・お問合せ先】
ピティナ 広島中央支部

TEL: 050-5893-8009 FAX: 082-847-1509 E-Mail: nakatsu@piano.or.jp
〒731-0153 広島県広島市安佐南区安東 1-10-6-402



アストラムライン、広電宇品線の本通駅より徒歩2分。
バスセンターより徒歩4分。
※公共交通機関でお越しください。

◆ 2016年4月22日(金)・9月16日(金) 久元祐子先生 講座申込書 ◆

氏名	ふりがな	種別	<input type="checkbox"/> 4月22日(金) <input type="checkbox"/> 9月16日(金) <input type="checkbox"/> PTNA広島中央支部所属会員 <input type="checkbox"/> PTNA他支部所属会員 <input type="checkbox"/> 一般
住所	〒		TEL
e-mail		FAX	()

※お客さまが本書面に記載された個人情報は、法令で定める場合のほか、お客さまの承諾なしに他の目的には使用いたしません。